

モリト株式会社

東証1部 証券コード9837

2021年11月期 第2四半期決算概要

2021年7月

MORITO

1. 2021年11月期2Q業績
2. 2021年11月期2Q事業の概況
3. 事業のトピックス
4. 株主還元策

2021年11月期2Q 進捗状況・ハイライト

- ・ 新型コロナウイルスの影響で、百貨店・量販店の休業・在庫調整の影響
- ・ 銅などの金属を中心とした、当社グループ主力商品ハトメ・ホックの原材料価格の高騰、半導体不足による自動車生産減少による影響
- ・ 屋外スポーツ・レジャー関連商品、マスク等の新しい生活様式に関連した商品の売上増加
- ・ 前年同期比、営業利益87%増加、当期純利益245%増加

2021年11月期2Q 業績サマリー

(単位：百万円)

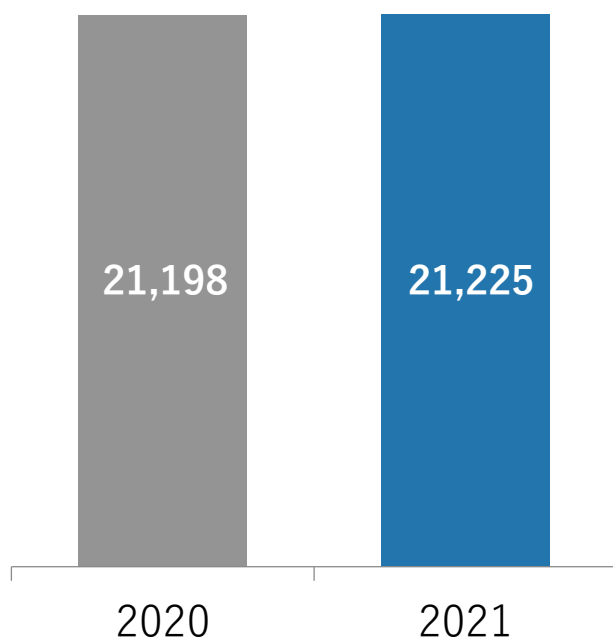
	2020 2Q	2021 2Q	増減額	増減率
売上高	21,198	21,225	+27	+0.1%
売上総利益	5,497	5,491	-6	-0.1%
売上総利益率	25.9%	25.9%		
経費	5,084	4,715	-369	-7.3%
経費率	24.0%	22.2%		
営業利益	412	775	+363	+87.9%
営業利益率	1.9%	3.7%		
経常利益	401	885	+484	+120.4%
経常利益率	1.9%	4.2%		
当期純利益	154	533	+379	+245.6%
当期純利益率	0.7%	2.5%		

MORITO

2021年11月期2Q 売上高

売上高： 21,225百万円 前年同期比： +27百万円 (+0.1%)

新型コロナウイルス、半導体不足の影響で、売上は前年と同水準



(単位：百万円)

日 本 14,638百万円

前年同期比 - 326百万円 (- 2.2%)

アジア 4,079百万円

前年同期比 +481百万円 (+ 13.4%)

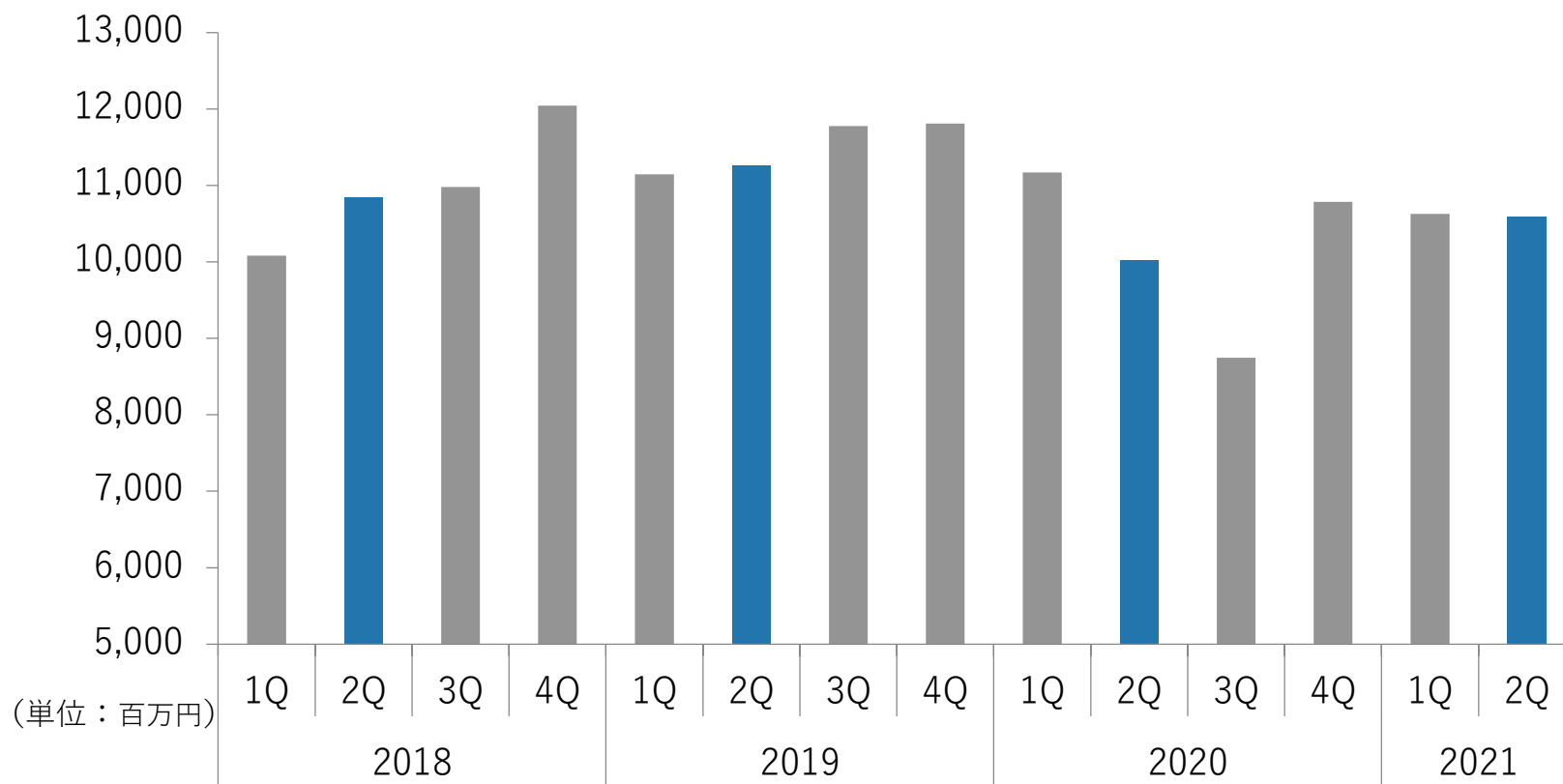
欧 米 2,507百万円

前年同期比 - 128百万円 (- 4.9%)

MORITO

2021年11月期2Q 四半期別売上高の推移

新型コロナウイルスの影響は引き続き想定されるものの、
下期偏重は継続の見込

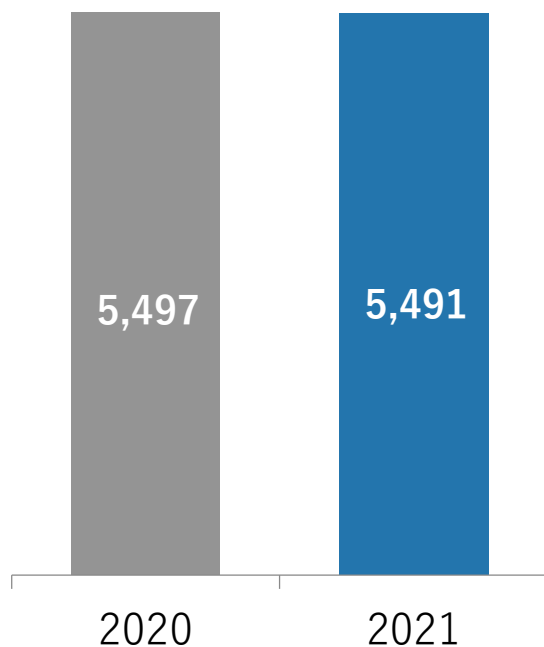


MORITO

2021年11月期2Q 売上総利益

売上総利益： 5,491百万円 前年同期比： -6百万円（-0.1%）

原材料価格高騰の影響

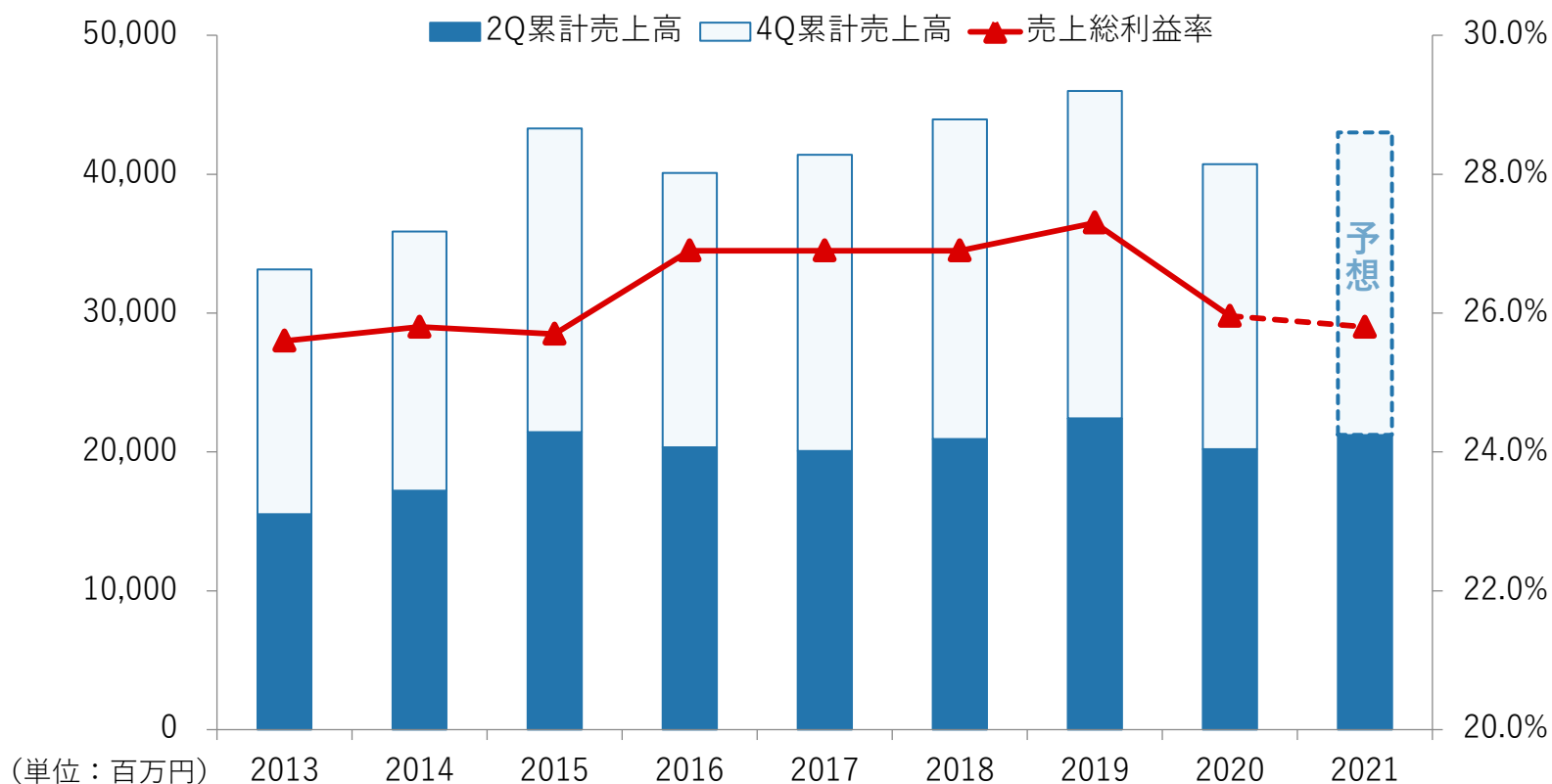


（単位：百万円）

	2020 2Q	2021 2Q	増減額	増減率
売上高	21,198	21,225	+27	+0.1%
売上総利益	5,497	5,491	-6	-0.1%
売上総利益率	25.9%	25.9%		
経費	5,084	4,715	-369	-7.3%
営業利益	412	775	+363	+87.9%
経常利益	401	885	+484	+120.4%
当期純利益	154	533	+379	+245.6%

2021年11月期2Q 売上高・売上総利益率の推移

受注は回復傾向であるものの、銅をはじめとした原材料価格高騰の影響が想定される



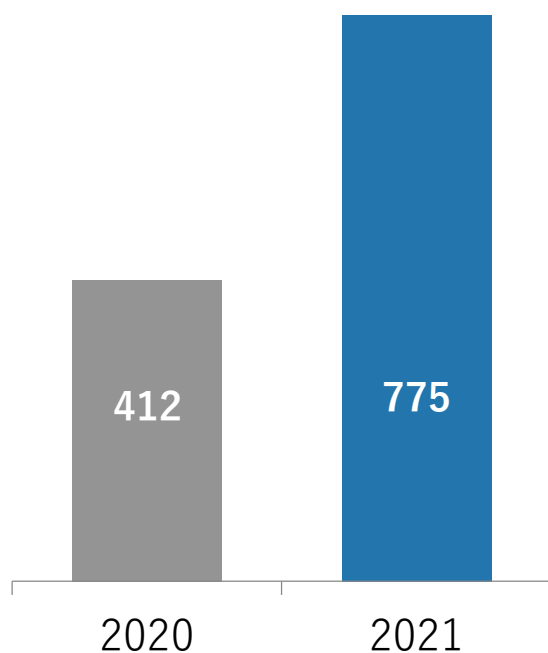
MORITO

2021年11月期2Q 営業利益

営業利益： 775百万円 前年同期比： +363百万円 (+87.9%)

経費の減少 > 売上総利益減少

(単位：百万円)



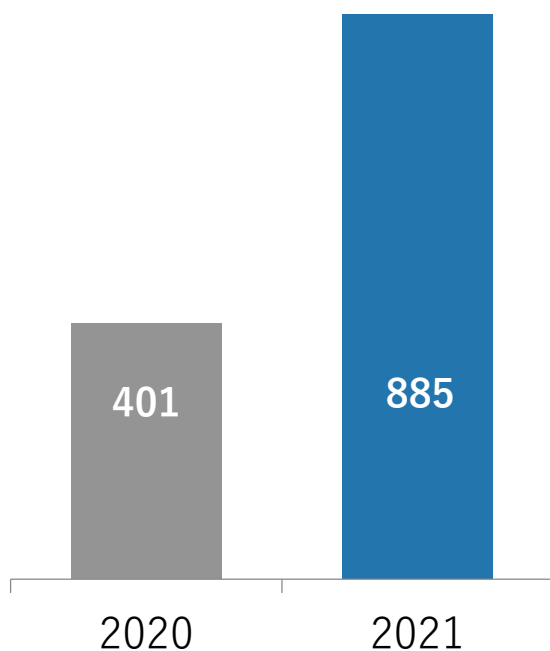
	2020 2Q	2021 2Q	増減額	増減率
売上高	21,198	21,225	+27	+0.1%
売上総利益	5,497	5,491	-6	-0.1%
売上総利益率	25.9%	25.9%		
経費	5,084	4,715	-369	-7.3%
経费率	24.0%	22.2%		
営業利益	412	775	+363	+87.9%
営業利益率	1.9%	3.7%		
経常利益	401	885	+484	+120.4%
当期純利益	154	533	+379	+245.6%

2021年11月期2Q 経常利益

経常利益：885百万円 前年同期比：+484百万円（+120.4%）

営業利益の増加、営業外収益増加、営業外費用減少

（単位：百万円）



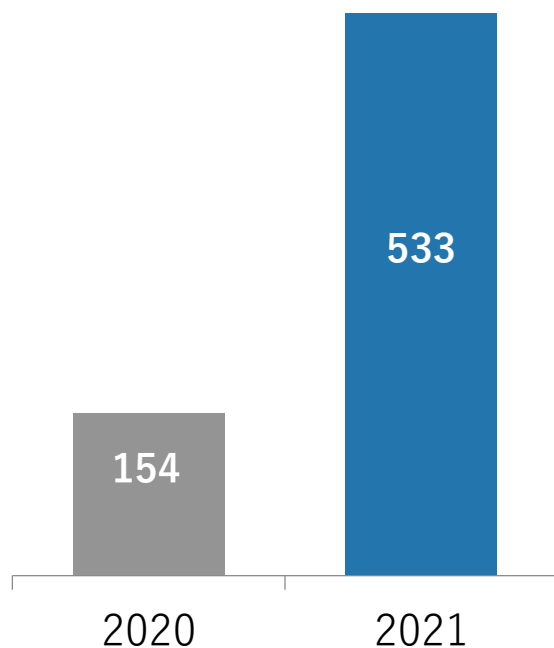
	2020 2Q	2021 2Q	増減額	増減率
売上高	21,198	21,225	+27	+0.1%
売上総利益	5,497	5,491	-6	-0.1%
経費	5,084	4,715	-369	-7.3%
営業利益	412	775	+363	+87.9%
営業利益率	1.9%	3.7%		
経常利益	401	885	+484	+120.4%
経常利益率	1.9%	4.2%		
当期純利益	154	533	+379	+245.6%
当期純利益率	0.7%	2.5%		

2021年11月期2Q 当期純利益

当期純利益： 533百万円

前年同期比： +379百万円 (+245.6%)

経常利益の増加



(単位：百万円)

	2020 2Q	2021 2Q	増減額	増減率
売上高	21,198	21,225	+27	+0.1%
売上総利益	5,497	5,491	-6	-0.1%
経費	5,084	4,715	-369	-7.3%
営業利益	412	775	+363	+87.9%
経常利益	401	885	+484	+120.4%
経常利益率	1.9%	4.2%		
当期純利益	154	533	+379	+245.6%
当期純利益率	0.7%	2.5%		

2021年11月期2Q 計画進捗について

(単位：百万円)

	2021年11月期 2Q実績	2021年11月期 業績予想	進捗度
売上高	21,225	43,000	49.4%
営業利益	775	1,300	59.6%
営業利益率	3.7%	3.0%	
経常利益	885	1,300	68.1%
経常利益率	4.2%	3.0%	
当期純利益	533	700	76.1%
当期純利益率	2.5%	1.6%	

	2020年11月期 2Q実績	2020年11月期 通期実績	進捗度
売上高	21,198	40,727	52.0%
営業利益	412	856	48.1%
営業利益率	1.9%	2.1%	
経常利益	401	928	43.2%
経常利益率	1.9%	2.3%	
当期純利益	154	470	32.8%
当期純利益率	0.7%	1.2%	

MORITO

2021年11月期2Q 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020 4Q 資産の部	2021 2Q		2020 4Q 負債の部	2021 2Q
流動資産	25,496	25,320 (▲ 176)	流動負債	6,927	6,823 (▲ 104)
			固定負債	4,756	4,606 (▲ 150)
			負債合計	11,684	11,429 (▲ 255)
固定資産	18,201	19,391 (+1,190)	純資産の部		
繰延資産	1	0 (▲ 1)	株主資本	30,516	30,918 (+402)
			その他の 包括利益累計額	1,441	2,307 (+866)
資産 合計	43,699	44,712 (+1,013)	純資産合計	32,015	33,282 (+1,267)
			負債純資産 合計	43,699	44,712 (+1,013)

MORITO 自己資本比率 74.3% (前期73.1%)

2021年11月期2Q 連結キャッシュフロー計算書

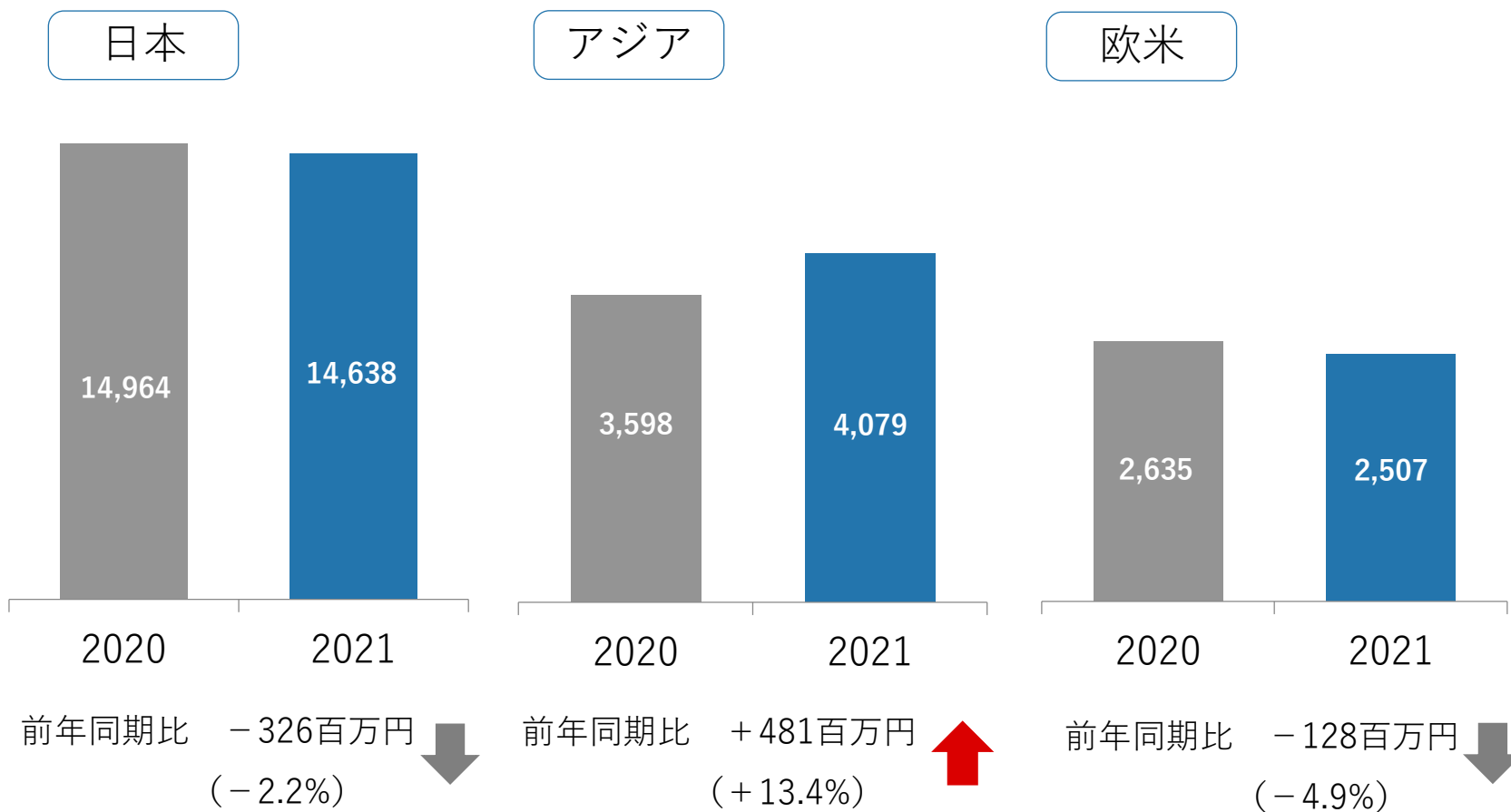
(単位：百万円)

	2020年11月期 第2四半期	2021年11月期 第2四半期
現金及び現金同等物期首残高	9,442	10,052
営業活動によるキャッシュフロー	584	1,489
投資活動によるキャッシュフロー	41	▲ 738
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 927	▲ 696
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	108
現金及び現金同等物の増減額	▲ 273	162
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	-
現金及び現金同等物期末残高	9,201	10,214

1. 2021年11月期2Q業績
2. 2021年11月期2Q事業の概況
3. 事業のトピックス
4. 株主還元策

2021年11月期2Q 地域別売上高（地域別詳細）

（単位：百万円）

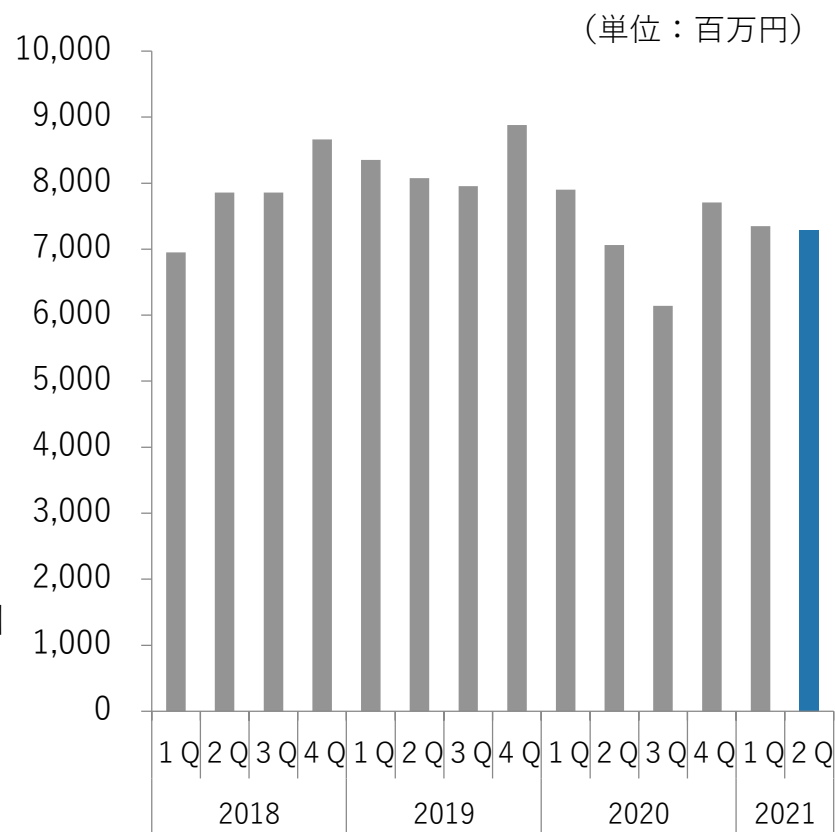


MORITO

2021年11月期2Q 地域別売上高（日本）

アパレル事業を中心に新型コロナウイルスの影響が継続している一方
屋外スポーツ等、巣ごもり需要の関連商品の売上が増加

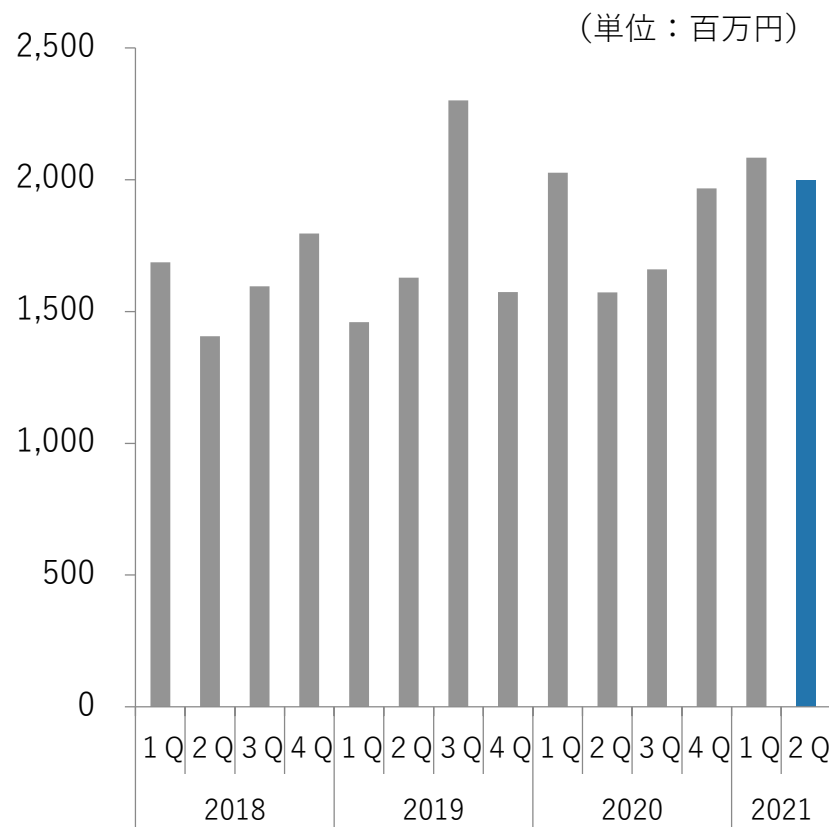
- ・ スポーツ衣料・レジャー関連商品向け
付属品が増加
- ・ 重衣料・バッグ・靴向け付属品が減少
- ・ 自動車内装部品が増加
- ・ 均一価格小売店向け製品が増加
- ・ タブレットケース・マウスパッド等、
PC関連商品が増加
- ・ サーフィン・スケートボード関連商品が増加
- ・ スノーボード関連商品が減少
- ・ 建設業界向け安全関連商品が減少



2021年11月期2Q 地域別売上高（アジア）

東南アジアを中心にミャンマー情勢の影響を受けつつも、輸送事業がアジアセグメントの軸として成長、アパレル事業も回復傾向

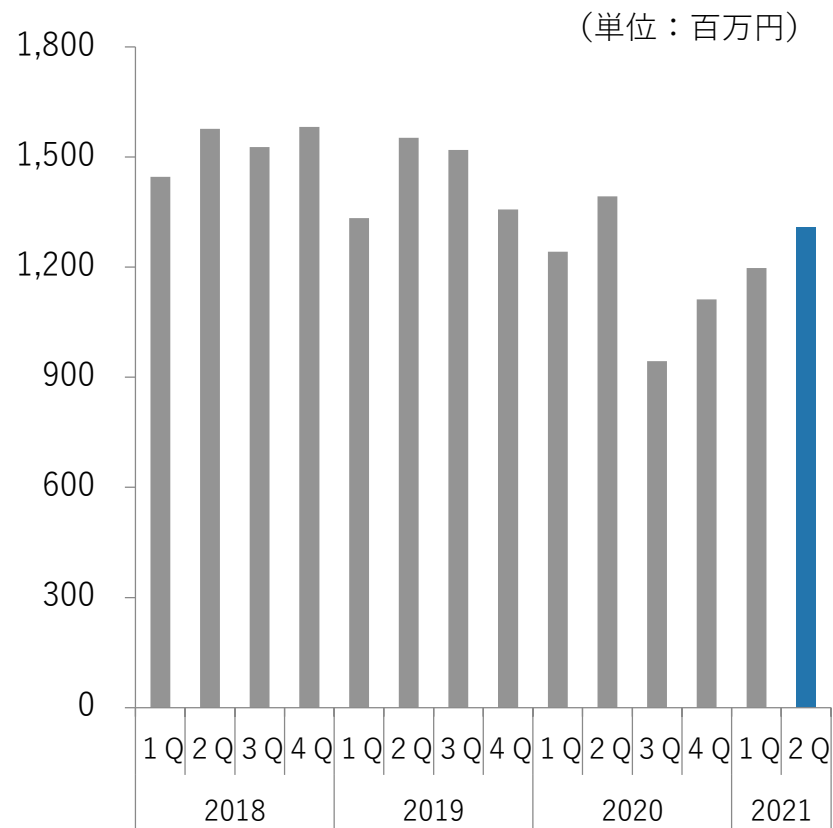
- ・ 香港での欧米アパレルメーカー向け
付属品が増加
- ・ タイでの日系アパレルメーカー向け
付属品が減少
- ・ 中国での日系自動車メーカー向け
自動車内装部品が増加



2021年11月期2Q 地域別売上高（欧米）

新型コロナウイルスの影響は継続しているが、
経済活動は回復しつつあり、2020年3Qを底に回復傾向

- ・ 欧州でのアパレルメーカー向け付属品が減少
- ・ 欧州での日系自動車メーカー向け自動車内装部品が増加
- ・ 米国での日系自動車メーカー向け自動車内装部品の減少



2021年11月期2Q 地域別売上高（四半期別）

（単位：百万円）

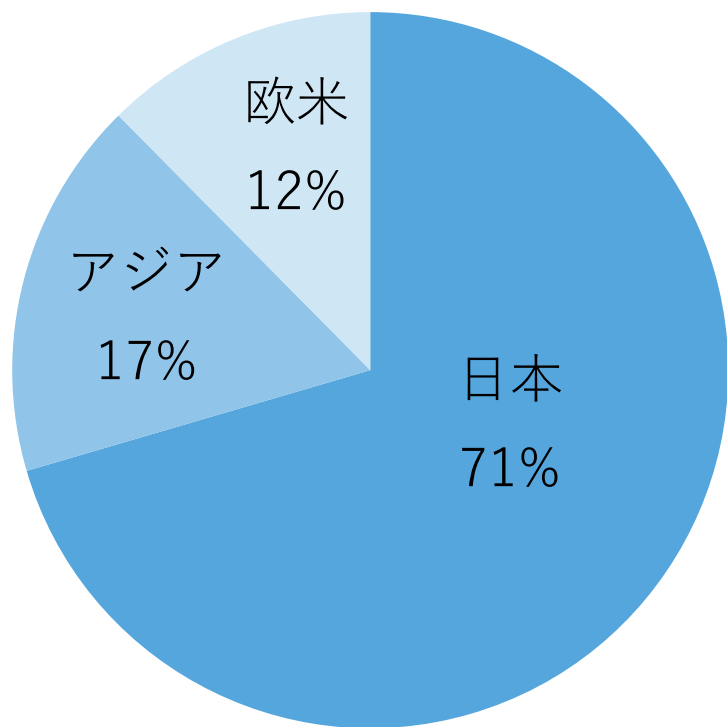
2021年度 実績						
	1 Q	2 Q	上期 合計	構成比	増減額	増減率
日本	7,347	7,291	14,638	69.0%	-326	-2.2%
アジア	2,083	1,996	4,079	19.2%	+481	+13.4%
欧米	1,198	1,309	2,507	11.8%	-128	-4.9%
合計	10,629	10,596	21,225	100.0%	+27	+0.1%

2020年度 実績									
	1 Q	2 Q	上期 合計	3 Q	4 Q	通期	構成比	増減額	増減率
日本	7,902	7,062	14,964	6,141	7,705	28,810	70.7%	-4,452	-13.4%
アジア	2,026	1,572	3,598	1,660	1,967	7,225	17.7%	+262	+3.8%
欧米	1,242	1,393	2,635	944	1,112	4,691	11.5%	-1,071	-18.6%
合計	11,171	10,027	21,198	8,744	10,785	40,727	100.0%	-5,260	-11.4%

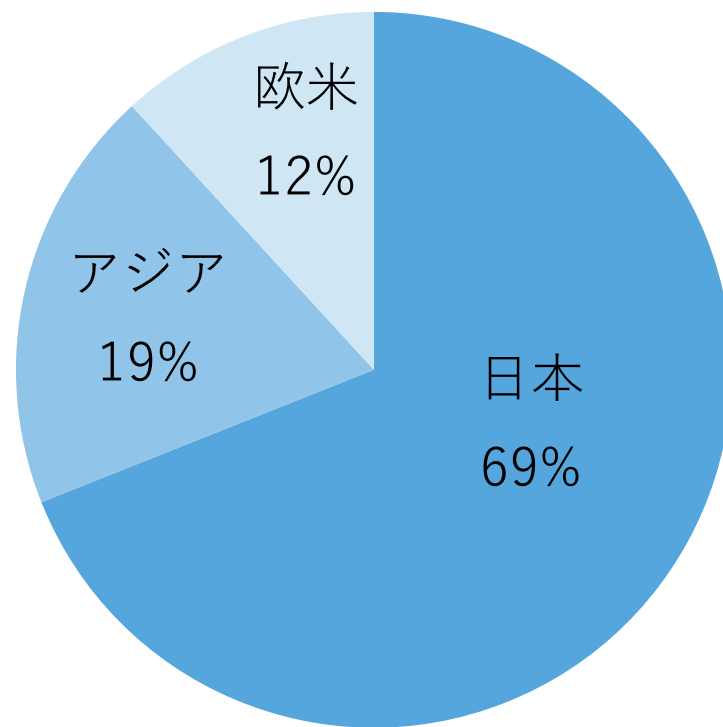
MORITO

2021年11月期2Q 地域別 売上構成

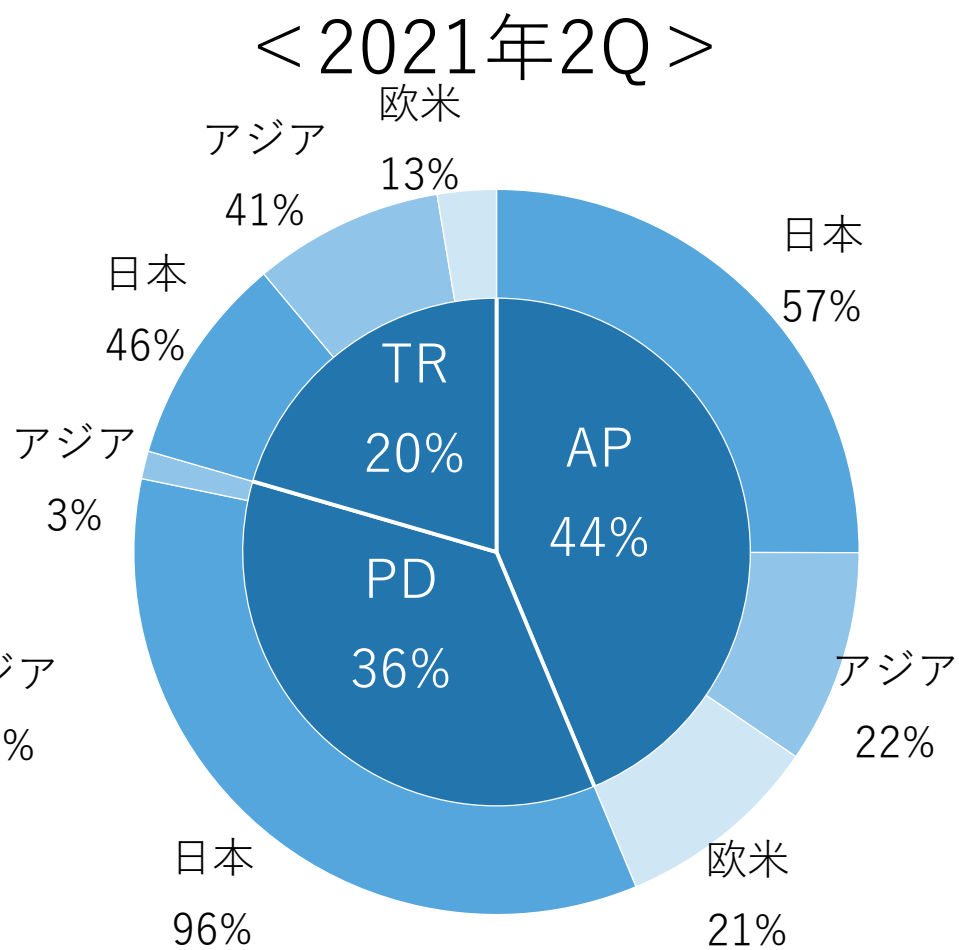
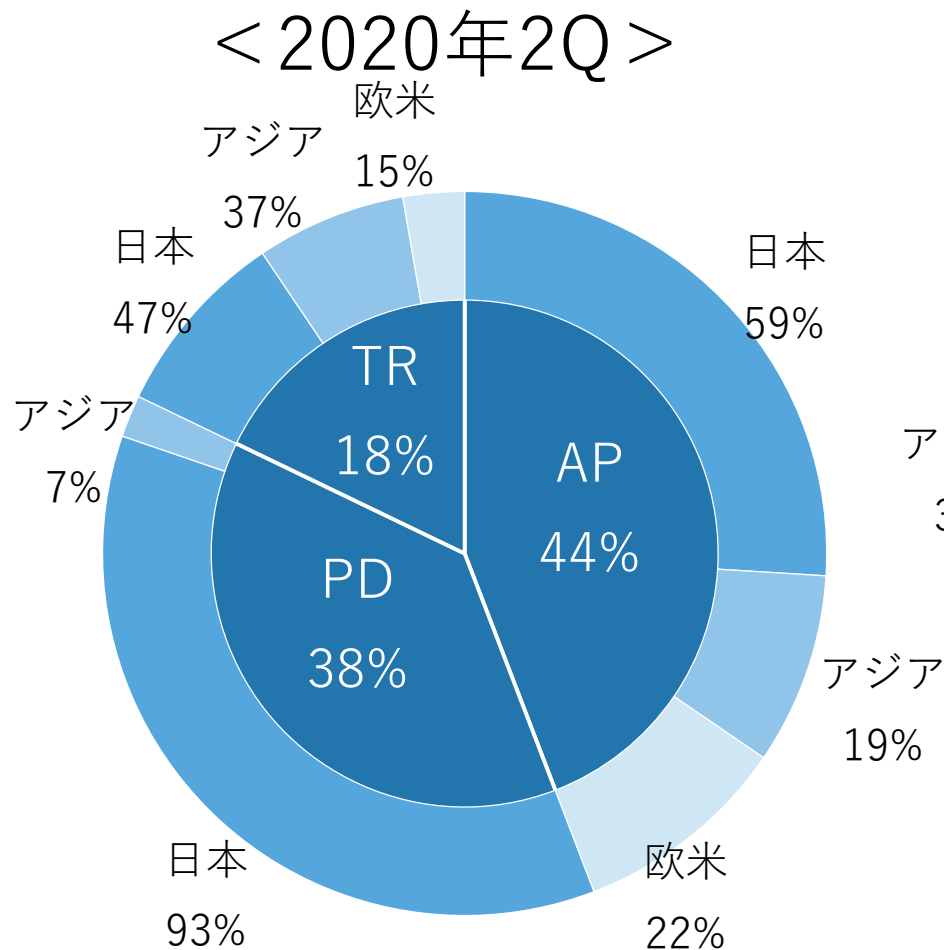
< 2020年2Q >



< 2021年2Q >



2021年11月期2Q 地域別×事業別 売上構成



AP: アパレル PD: プロダクト TR: 輸送機器

MORITO

1. 2021年11月期2Q業績
2. 2021年11月期2Q事業の概況
3. 事業のトピックス
4. 株主還元策

環境配慮型の商品開発等の取り組み「C.O.R.E.」

〈日本 アパレル・プロダクト事業〉

廃漁網をリサイクルしたナイロン樹脂「リアミド (REAMIDE)」を
使用したアパレル向け資材の用途開発を推進

樹脂パーツだけでなく、テープやゴム、生地といった新たな資材を開発

(リアミドを使用したアパレル向け資材の例)



MORITO

環境配慮型の商品開発等の取り組み「C.O.R.E.」

</

AI・IoTと副資材・アクセサリーの融合 「みまるく」発売

スケートボード・サーフィン関連商品 売上拡大

スケートボード・サーフィン

新感覚アウトドアブランド「POLeR」

〈日本 プロダクト事業〉

コロナ渦において、屋外で楽しめるアウトドア関連商品の需要が増加
グループ会社キャンバスにて取扱うサーファー、スケーター、スノー
ボーダーのライフスタイルをミックスした新感覚アウトドアブランド
「POLeR」が注目を集め、雑誌等に掲載



ドッグトイ



ドッグ
アウトドアシート



コンテナケース

MORITO

均一価格小売店向け商品の取扱い拡大

〈日本 プロダクト事業〉

従来から当社インソールを中心に販売していた均一価格小売店にて、マウスパッドなどPC関連商品の売上が増加

さらに当社NB商品の取扱いも開始し、新型コロナ対策としてマスク関連商品や、手芸関連・ビーズ等の商品を販売し、売上が拡大

(当社NB商品の例)



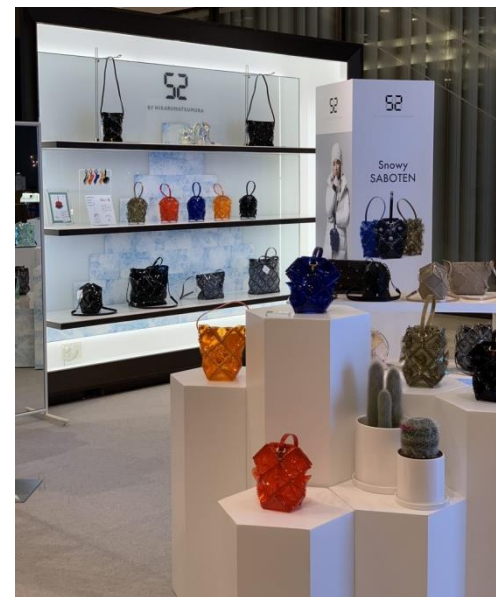
MORITO

BtoCビジネスの展開 52DESIGN

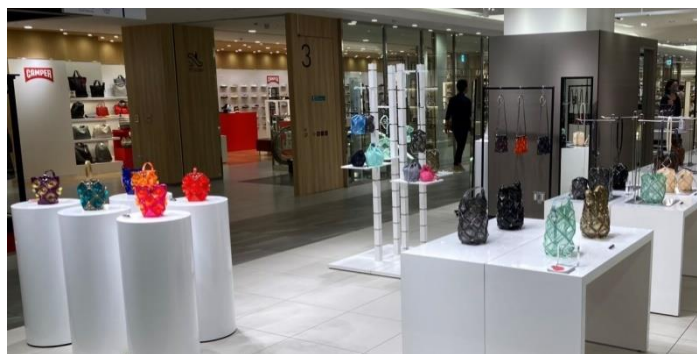
〈日本 アパレル事業〉
各地百貨店、セレクトショップにてPOP-UP STOREを開催
今後、異業種との協業、アジアでの販売などにも注力



FROM FIRST MUSEE 神戸BAL TATRAS CONCEPT STORE 日比谷店



阪急うめだ



ジェイアール京都伊勢丹

MORITO

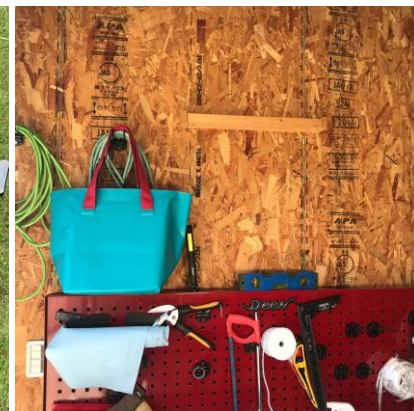
BtoCビジネスの展開 防水素材バッグ

〈日本 プロダクト事業〉
人気商品の防水素材バッグZATに加え、今年3月より、丸洗い可能で
アウトドアなどにも使えるカジュアルな防水素材バッグZABを販売
大型量販店でも採用

ZAT



ZAB



MORITO

個人投資家セミナーへの参加

〈全社〉

株式会社イベントスの主催する個人投資家セミナーに参加し、
当社の会社概要・事業内容・今後の取り組み等について説明
今後、会社PRのためにもより積極的に取り組みを実施

(説明会の様子)

説明会の様子は、以下QRコード・
URLより視聴可能です

<https://youtu.be/99GMRwOfj6g>



MORITO

1. 2021年11月期2Q業績
2. 2021年11月期2Q事業の概況
3. 事業のトピックス
4. 株主還元策

利益配分に関する基本方針

継続的配当の
実現

業績状況等により
親会社株主に帰属する
当期純利益に対する
配当性向は
50%以上を
基準※

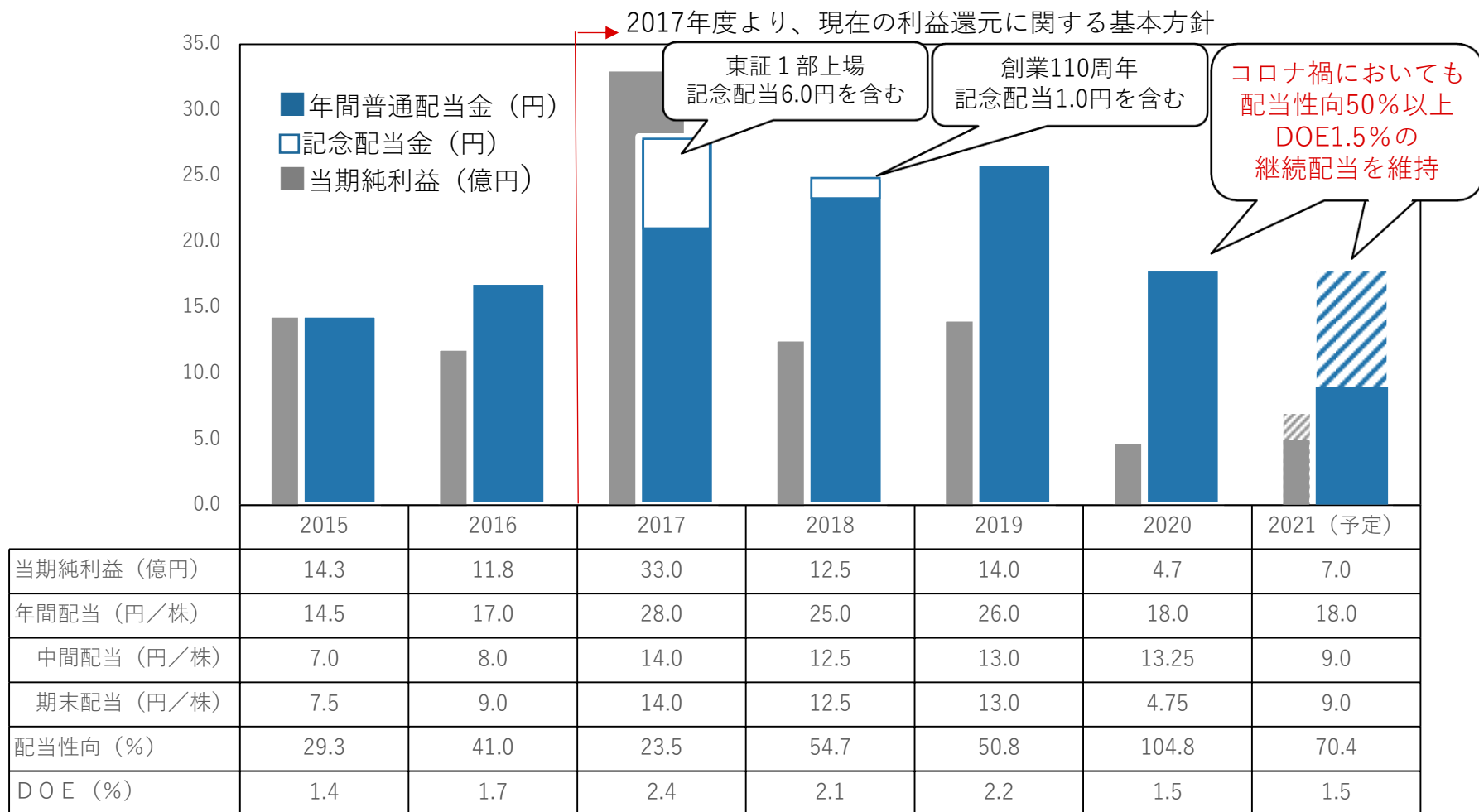
連結自己資本配当率
DOE1.5%を
維持

※特別な損益等の特殊要因により税引き後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度についてはその影響を考慮し配当額を決定いたします。

※当社の自己株式取得および消却につきましては、株主還元の更なる充実を図っていく観点から、当社の収支状況や株価水準などを勘案しながら、弾力的な実施を引き続き検討してまいります。

MORITO

配当金・配当性向・DOEの推移



※ 2017年11月期の配当性向に関して、表中では23.5%となっておりますが、記念配当を除いた普通配当22円と特別な損益等を除いた親会社株主に帰属する当期純利益を基準とすると配当性向は50%以上となります。

MORITO

本資料のお取扱いについて

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、
当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、
完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき
当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されて
いる将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

モリト株式会社

総務部 I R ・ 株式課

〒541-0054

大阪市中央区南本町4-2-4

TEL：06-6252-3551

FAX：06-6252-3853

E-mail：ir@morito.co.jp

MORITO